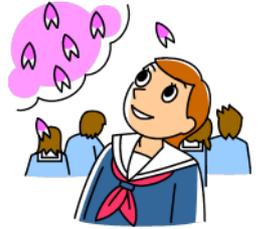




(No. 1 6) 敦賀高等学校 定時制



	書名	著者名	出版社	価格 (税込)
【1】	未来の年表 人口減少日本でこれから起きること	河合雅司	講談社現代新書	836 円
推薦図書の説明				
<p>「こんなに急激に人口が減るのは、人類史上、類例がない」という極めて特異な時代を、私たちは生きています。この意識を明確に持つには、本書は、お勧めの一冊です。加えて、未来を担う中学・高校生や大学生へのメッセージを、特別に頁を割いて伝えており、人口減少問題を自分たちの問題として捉え、日本社会が進むべき道を探る一助となると思います。</p>				

	書名	著者名	出版社	価格 (税込)
【2】	星の王子さま	サンテグジュペリ	新潮社	528 円
推薦図書の説明				
<p>自分の星を離れた王子様は、星々を旅したあと、地球に来ます。ここで「ぼく」「キツネ」「へび」に出会います。出会いの中で、自分の星に残してきた「わがままなバラ」の大切さに気づいたり、キツネからは「友人を大切にすること」を教えられたりします。とても短いお話なので、しなやかな感受性を持っている皆さんに、ぜひ読んで欲しい一冊です。</p>				

	書名	著者名	出版社	価格 (税込)
【3】	ヒューマン・コメディ	サローヤン	光文社	968 円

推薦図書の説明

第二次世界大戦中、カリフォルニア州イサカのマコーリー家では、父が死に、長兄も出征し、14歳のホームーが学校に通いながら、電報配達をして家計を助けている。ホームーは学校や町の人々との触れあいの中で成長していく。読後、何か温かいものが心に残る一冊。

	書名	著者名	出版社	価格 (税込)
【4】	「空気」を読んでも従わない	鴻上尚史	岩波書店	902 円

推薦図書の説明

「どうして、こんなに周りの目が気になるの？」 「どうして、こんなに先輩に従わないといけないの？」 「どうして、ラインやメールが気になるの？」 今、あなたは必要以上に気疲れしていませんか。それは、あなたが弱いからではなく、理由があります。それを知れば、少しは生きやすくなると思います。

	書名	著者名	出版社	価格 (税込)
【5】	ぼくを探しに	シルヴァスタイン 作 倉橋由美子 訳	講談社	1,650 円

推薦図書の説明

「ぼく」には、なにかが欠けている。完全な自分になるために、「ぼく」は「ぼく」のかけらを探しにでかけます。ぴったりはまる、かけらは見つかるのでしょうか？ 高校生のころ、「自分ってなんだろう？」と思い悩む人も多いのではないのでしょうか。この本を読みながら、「ぼく」を探しに行ってみませんか。それぞれの答が見つかるかもしれません。白黒のイラストも素朴で可愛くてお薦めです。

